

防災スペシャリスト養成研修 学習項目と単元及び学習目標

新規単元 今回実施 資料4-3

No.	項目(大分類)	No.	単元	手法	一般	中堅	幹部	総合	概要	学習目標	
1	災害発生メカニズム	1	地震	座	1				地震発生メカニズムと、それによる物理的・社会的被害を理解し、自治体の対応を考える	・地震の発生メカニズムについて説明できる ・地震による物理的被害の発生メカニズムについて説明できる ・地震による社会的被害の発生メカニズムについて説明できる	
		2	津波	座				1	津波の発生メカニズムとそれによる物理的・社会的被害、今後の災害に備えた被害想定について学ぶ	・津波災害の特徴を説明できる ・津波被害想定の内容を説明できる ・津波災害対策を説明できる	
		3	地震と建物・火災被害	座	1					地震及び地震火災による建物被害を理解し、自治体の対応を考える	・地震による建物被害のメカニズムを説明できる ・地震火災による建物被害メカニズムを説明できる ・建物の耐震補強の有用性を説明できる
		4	風水害	座	1					風水害の発生過程とその対応方法を理解し、自治体の対応を考える	・豪雨災害のメカニズムと対策を説明できる ・土砂災害のメカニズムと対策を説明できる ・高潮災害のメカニズムと対策を説明できる
		5	火山災害	座					1	火山災害の発生過程とその対応方法を理解し、自治体の対応を考える	・火山噴火現象の種類(火砕流、火山灰降下など)と、その災害上の特徴を説明できる ・火山災害に関する防災気象情報を説明できる ・火山災害への予防および応急対策を説明できる
		6	竜巻	座					1	竜巻災害の発生過程とその対応方法を理解し、自治体の対応を考える	・竜巻災害の発生メカニズムを説明できる ・竜巻に関する気象情報を説明できる ・竜巻災害の対策を説明できる
		7	都市巨大災害	座		1			1	事例を通じて災害による被害過程の全体像について理解する首都圏直下型地震にも言及する。	・都市巨大災害の特徴を説明できる。 ・過去の都市巨大災害の教訓を説明できる ・今後発生が想定できる巨大災害の特徴を説明できる
2	災害の社会的影響	8	災害過程・被災者生活	座	1				災害発生後に、被災者が直面する様々な課題を時間軸から理解する	・被災者生活から見た災害過程を説明できる ・災害過程の各段階の特徴を説明できる ・被災者の生活と行政から見た災害過程の違いを説明できる	
		9	災害過程・被災者生活	演	1				災害発生時に人びとが直面する生活上の課題を具体的にイメージする	・災害発生後の被災地の課題を被災者の目線で思考して表現できる。 ・災害発生後の被災地の課題を被災者の目線で思考する意味を説明できる ・災害発生後の行政の対応を被災地の課題をもとに思考して表現できる	
3	防災対策の基礎	10	地域防災計画	座	1				地域防災計画の法的な位置づけとそれを補完するプログラム、活用方策の事例を理解する	・地域防災計画の法的な位置づけを説明できる ・地域防災計画を補完するプログラムを説明できる ・地域防災計画の活用方策を説明できる	
		11	災害法体系	座	1				災害対応にあたって使える権限・財源を理解する 災害対策基本法・災害救助法の守備範囲を理解する	・災害関連法制の意味を説明できる ・災害関連法制の体系を説明できる ・災害対策基本法の構造を説明できる	
		12	リスクコミュニケーション	座	1			1	人びとがリスクをどのように認識しているのかを理解したうえで、緊急時の効果的な情報伝達方法を理解する	・リスクコミュニケーションの定義を説明できる ・緊急時の情報提供についての課題を説明できる ・人々のリスクのとらえ方を説明できる	
		13	危機管理総論	座	1					危機管理の基礎的な考え方と実務上のとらえ方を理解する	・危機管理の基礎的な考え方を説明できる ・行政における危機管理時の特徴を説明できる ・平時と危機管理時における行政組織の違いを説明できる
		14	防災情報システム	座	1					庁内や関係機関、住民との情報(被害、避難勧告、地理情報等)共有や広報手法について学ぶ。情報システムの紹介とともに、アナログ手法の有効性にも言及する	・情報共有の意義を説明できる ・庁内や関係機関との情報共有手法を説明できる ・住民との情報共有や広報手段を説明できる
		15	行政の災害対応事例(大規模災害)	座	2					過去の災害において災害対応業務に従事された方の経験談から教訓を学ぶ	・過去の災害における災害対応業務の教訓を説明できる ・過去の災害の状況を感じる ・過去の災害での災害対応業務従事者とコミュニケーションする
		16	災害情報	座	1	1				各種の災害情報(防災気象情報、生活支援情報など)の種類とともに、それら情報の住民への伝達手段について学ぶ	・災害情報(竜巻情報、生活支援情報など)の種類を説明できる ・自治体からの避難勧告等の発信、住民における受容における留意点等を説明できる ・災害情報の、各種の伝達媒体の特徴を説明できる
4	災害対応総論	17	初動期対応	座		1		1	初動対応時の対応と課題について理解を深める	・初動期の行政の対応の特徴を説明できる ・行政の初動期の課題を説明できる ・行政の初動期における災害対応のあり方を説明できる	
		18	応急期対応	座		1			応急対応期の対応と課題について理解を深める	・応急期の行政の対応の特徴を説明できる ・行政の応急期の課題を説明できる ・行政の応急期における災害対応のあり方を説明できる	
		19	復旧・復興期対応	座					復旧・復興期の対応と課題について学ぶ	・復旧・復興期の行政の対応の特徴を説明できる ・行政の復旧・復興期の課題を説明できる ・行政の復旧・復興期における災害対応のあり方を説明できる	
		20	BCP	座				1	1	各公共機関におけるBCPの意味と重要性について、また、その導入について、具体的な事例を交えて理解する。職場の労働安全管理についても言及する。	・行政のBCPの意味を説明できる ・行政のBCPの策定ポイントを説明できる ・災害時の職員の労働安全管理のあり方について説明できる
		21	危機管理法制	座					1	危機管理に関連する災害対策基本法などの法体系を理解し、危機対応時の権限や財源を学ぶ	・我が国の危機管理法体系を説明できる ・我が国の危機管理の権限について説明できる ・我が国の危機管理の財源を説明できる
		22	復興法制	座					1	東日本大震災後に公布された東日本大震災復興基本法をはじめ復興に関係する法体系を理解し、最新の国の復興施策について学ぶ	・東日本大震災復興基本法の意義を説明できる ・我が国の復興に関する法体系を説明できる ・最新の国の復興施策を説明できる
		23	広報	座				1	1	災害時の情報提供方法、報道機関対応の課題を学ぶ	・メディアの種類を列挙し、その特徴を説明できる ・住民の視点から、災害広報活動におけるポイントを説明できる ・記者会見時の留意事項を説明できる
		24	イメージトレーニング	演					2	阪神・淡路大震災の事例を踏まえつつ、災害時の対応イメージを豊かにすることの重要性とその方法について、ゲーミング手法を活用して学ぶ	・災害時に起こった意思決定の状況を感じる ・災害時には多様な視点・価値観の必要性を説明する ・災害対応を題材としたゲーミング手法に参加する
		25	業務フロー整理	演					2	災害対応をプロジェクトマネジメントの枠組みで理解し、実効性の高いマニュアルを作成するためのツール(業務分析、およびタイムラインの概念)を学ぶ。	・業務分析手法を説明できる ・タイムラインの概念を説明できる ・マニュアル作成ツールを実施できる
		26	情報処理	演						災害発生時の具体的なテーマを設定し、初動～応急期における情報処理の考え方について学ぶ	・組織が情報処理を実施する目的を説明できる ・初動期における情報処理の考え方を説明できる ・応急期における情報処理の考え方を説明できる
27	情報処理・情報共有組織マネジメント	演		2			2	災害発生直後の被害予測技術、システム設計における業務分析の考え方を学ぶ	・災害直後における、被害の予測手法を説明できる ・情報処理の円滑化のための、業務分析の手法を説明できる ・災害対応における組織と情報処理のあり方について説明できる		
5	災害対応各論	28	災害救助法	座		1		1	過去の災害における災害救助法適用事例から災害救助法の理解を深める。	・災害救助法の意義を説明できる ・災害救助法の適用手続きを説明できる ・災害救助法の特別基準を説明できる	
		29	避難行動	座				1	災害種別ごとに異なる避難行動のタイミングと避難が困難な要援護者への対応について学ぶ	・災害時における避難の実態を説明できる ・災害時の避難行動のあり方を説明できる ・要援護者の避難の考え方を説明できる	
		30	医療活動	座		1		1	災害現場の医療活動体制について理解を深める	・現在の災害医療体制を説明できる ・災害医療と行政との連携のあり方を説明できる ・災害医療と行政との連携の課題を説明できる	
		31	自衛隊連携	座		1		1	行政と自衛隊の連携について理解を深める	・災害時の自衛隊の活動の考え方を説明できる ・災害時の行政と自衛隊との連携のあり方を説明できる ・平時からの行政と自衛隊との連携のあり方を説明できる	
		32	要援護者	座		1			平時時から発災後の要援護者支援に関する基礎的な考え方と実務を学ぶ	・災害時の要援護者支援の基礎的な考え方を説明できる ・過去の災害における要援護者支援の課題を説明できる ・要援護者支援の最新事例を説明できる	

No.	項目(大分類)	No.	単 元	手法	一般	中堅	幹部	総合	概 要	学 習 目 標	
5	災害対応各論	33	救援物資物流	座		1		1	災害直後から被災者の生活支援のための物流対応について、自治体担当部署のみならず民間運送会社などの能力も活用した実践的な事例を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 過去の災害での緊急支援物資輸送状況を説明できる 現在の緊急支援物資輸送の課題を説明できる 今後の緊急支援物資輸送の考え方を説明できる 	
		34	ボランティア	座				1	NGO/NPOに対する理解を深め、災害支援における民間と行政の連携について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 災害時のNGO/NPOの特徴を説明できる 過去のNGO/NPOと行政との連携事例を説明できる 今後のNGO/NPOと行政との連携の考え方を説明できる 	
		35	交通計画	座					1	災害時における交通計画や道路啓開の仕方、都市構造について	<ul style="list-style-type: none"> 災害時における交通の特徴を説明できる 災害時の交通計画の考え方を説明できる 災害時の道路啓開の考え方を説明できる
		36	都市復興	座					1	阪神淡路大震災や東日本大震災などの被災地における復興過程と様々な取り組みを学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 被災地における復興過程を説明できる 過去の災害における復興の取り組みを説明できる 過去の災害における復興の課題を説明できる
		37	インフラ	座					1	電気・電話・ガス・水道など災害時のライフラインの復旧について理解を含め、課題を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 各種インフラの災害被害の特徴(復旧に要する時間等)を説明できる 各種インフラでの、応急的なサービス供給対策の内容を説明できる 各種インフラで行われる、応急復旧工事対策の内容を説明できる
		38	健康危機管理	座					1	被災住民の健康危機に対する行政の支援について理解を深める	<ul style="list-style-type: none"> 避難所での健康管理のために実施すべき対策を説明できる 在宅の要介護者、高齢者等の健康のために必要な対策を説明できる 災害発生時の施設入所者の健康のために必要な対策を説明できる
		39	こころのケア	座					1	災害発生初期の被災者に対する接し方及び災害対応業務を行う上でのマインドケアについて	<ul style="list-style-type: none"> 被災者がこころを患う心理的なストレスの内容を説明できる 救護者や自治体職員に懸念される心理的なストレスの内容を説明できる 「こころのケア」対策の内容を説明できる
		40	企業連携	座			1			災害時の被災者支援における、行政と民間企業との連携について理解する	<ul style="list-style-type: none"> 企業との連携が重要な災害応急対策項目を複数挙げ、その内容を説明できる 応急対策時に、企業と円滑に連携するための留意点を説明できる 企業と応急対策時に効果的に連携するために必要な事前対策を説明できる
		41	広域連携	座					1	災害時の被災自治体の対応において、広域連携のあり方について理解を深める	<ul style="list-style-type: none"> わが国における広域連携の形態を複数挙げて、その仕組みを説明できる 広域連携を効果的に行うための留意点を、受援側と支援側の立場から複数挙げられる 広域連携を効果的に実施するために求められる事前対策を説明できる
		42	防災まちづくり	演			2		2	防災まちづくりの課題を演習を通じて学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 防災まちづくりの目標を設定することができる 設定した目標に従った施策を立案することができる
		43	避難所運営	座					1	避難所の運営手法について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 避難所の運営における業務項目(健康管理、食事提供など)を列挙して説明できる。 住民との協同した、避難所の運営の方法・留意点を説明できる 庁内各部署や関係団体と連携した、避難所の運営の方法・留意点を説明できる
		44	災害対応実務	演			2		2	演習を通じて、災害対策本部や災害対応のあり方を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 災害エスノグラフィーを活用して災害イメージの重要性を理解する 災害対策本部の運営について理解する 効果的な災害対応のあり方について理解する
45	災害対応演習	演					2	危機発生時の具体的な課題をもとに、災害対応の考え方について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時の組織的な目標と対応方針を立案できる 目標と対応方針を立案した根拠を説明できる 危機発生時に、組織的に対応するための方法を説明できる 		
6	災害対応業務組織マネジメント	46	理論	座				1	災害対応業務の標準化や、危機対応をする上で首長を補佐する職にある人が必要とする能力について理解する。災害対策本部の活動サイクル(Planning P)についても言及する。	<ul style="list-style-type: none"> 災害対応業務の標準化の必要性を説明できる 災害対応組織に求められる機能を列挙し、その内容を説明できる 災害対策本部の活動サイクルを説明できる 	
		47	本部空間配置	演			2	2	災害対策本部のレイアウトの重要性、また適切なレイアウトについて、演習を交えて理解する	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策本部各班の空間配置での設計方針を説明できる 災害対策本部のレイアウトを見て、その良否を理由を挙げて解説できる 所与の条件のなかで、適切な本部レイアウトを考えられるようになる 	
		48	災害対策本部運営	座			1			災害対策本部の組織設計、マネジメント手法について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策本部の組織設計の考え方を説明できる 災害対策本部会議の開催目的を説明できる 災害対策本部の組織運営の留意点を説明できる
		49	目標管理	座						目標管理型災害対応の考え方やその具体的内容について、過去の災害事例を踏まえ理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な災害対応を行う際に、目標を設定する重要性を説明できる 適切な目標の内容を、事例を挙げながら、説明できる 設定した目標を、組織的に管理する方法を説明できる
		50	対応検討	座				1		災害発生後の限られた情報の中で状況を推測し、対応方針、施策を検討する考え方の重要性を認識する。	<ul style="list-style-type: none"> 災害時における被災地の目標を設定するプロセスを説明できる 災害時における目標に従った対応方針を立案するプロセスを説明できる 限られた情報のなかで、意思決定を行う際の留意点を説明できる
		51	対応検討	演				1		災害発生後の限られた情報の中で状況を推測し、対応方針、施策を検討する考え方を演習を通じて深める。	<ul style="list-style-type: none"> 災害時における被災地の目標を設定することができる 災害時における目標に従った対応方針を立案できるようにする 限られた情報のなかで、意思決定を行えるようになる
		52	トップマネジメント	座						トップの災害対応、危機管理に対する心得を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 組織のトップのあり方を説明できる 組織のトップとして、組織内で果たすべき職務と、その概要を説明できる 組織のトップとして、対外的に果たすべき職務と、その概要を説明できる
		53	海外での災害マネジメント事例	座						米国を中心に海外における災害時の組織マネジメントについて理解を深め、日本の災害対応に適用できる部分について認識する。	<ul style="list-style-type: none"> 多様な災害に対応するための、ICSの意義を説明できる ICSが必要とされている機能を列挙し、その内容を説明できる 日本の災害対応システムの形態を、海外の事例と比較して解釈できる
54	実災害事例	座						実災害事例をもとに、意見交換を行い、災害対応の課題と対応方法について理解を深めるとともに、対応記録の重要性について言及する。	<ul style="list-style-type: none"> AARの重要性を説明できる 災害対応で課題となる点を、事例をあげて説明できる 状況に応じて、工夫をした災害対応をできるようにする 		
7	総合防災演習	55	防災演習	演				10	実演を通じて、総合的な災害対応能力を身につける	<ul style="list-style-type: none"> 組織的に、情報を収集し、分析し、意思決定する際の留意点を具体的に説明できる 本部組織内で、被災地の状況認識を共有化する際の留意点を具体的に説明できる 本部組織を、状況に応じてマネジメントする際の留意点を具体的に説明できる 	
8	そのほか	56	防災施策の最新動向	座					東日本大震災の経験を踏まえて、最新の国の災害対応体制について理解する	<ul style="list-style-type: none"> 近年における、関連法制の変更点とその意義を、列挙して説明できる 	
		57	東日本大震災の初動対応	座				1	東日本大震災の経験を踏まえて、初動対応のあり方を考える	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の初動時に課題となった事項を例を挙げて説明できる 東日本大震災の対応を踏まえ、今後の大規模災害時の初動対応のあり方を考えられるようになる 	
		58	危機管理施策の最新動向	座					最新の国の災害、危機管理施策について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 最近の専門調査会等における報告等とその意義を、列挙して説明できる 	
		59	地震災害史	座					過去の震災が歴史に与えた影響を学びつつ、現代の都市と社会の分析をとおして、その脆弱性と災害像を予測し、備えの方法を考える	<ul style="list-style-type: none"> わが国の過去の自然災害と、その当時の社会の対応を、事例を挙げて説明できる 過去の災害事例から、現在の災害対策のあり方を考えられるようになる 	

小計 16 16 7 46

ガイダンス 1 1 1 1
 有明見学 1 1 1 1 初日最初の1コマ希望者のみ
 振り返り 1 1 * 1
 閉校式 1 1 1 1 閉校式は30分程度で終了予定

合計 20 20 10 50

割り当て可能なコマ数 19 20 10 50
 一般 中堅 幹部 総合